



平成30年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年12月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エニグモ

コード番号 3665

URL <http://www.enigmo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者

(氏名) 須田 将啓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートオペレーション本部長

(氏名) 金田 洋一

TEL (03) 6894-3665

四半期報告書提出予定日 平成29年12月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第3四半期の連結業績（平成29年2月1日～平成29年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第3四半期	3,062	6.1	997	△17.8	981	△18.8	221	△72.1
29年1月期第3四半期	2,885	52.8	1,213	798.2	1,209	816.9	792	-

(注) 包括利益 30年1月期第3四半期 208百万円 (△72.5%) 29年1月期第3四半期 762百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第3四半期	10.61	-
29年1月期第3四半期	38.07	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第3四半期	4,194	3,403	81.1
29年1月期	5,080	3,194	62.9

(参考) 自己資本 30年1月期第3四半期 3,403百万円 29年1月期 3,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	-	0.00	-	0.00	0.00
30年1月期	-	0.00	-	-	-
30年1月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年1月期の連結業績予想（平成29年2月1日～平成30年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,418	6.5	1,423	△19.5	1,426	△19.1	539	△52.8	25.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年1月期3Q	21,321,000株	29年1月期	21,321,000株
② 期末自己株式数	30年1月期3Q	500,000株	29年1月期	500,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年1月期3Q	21,321,000株	29年1月期3Q	20,821,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「世界が変わる流れをつくる。」というミッションの下、インターネットを通じて、一般消費者が持つ個々の才能をネットワークし、今まで存在しなかった新しい価値を創造し、世界をよりよく変えることを目的として、ソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA(バイマ)」および女子向けメディア「4MEEE(フォーミー)」並びに「4yuuu!(フォーユー)」を中心とした事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間(平成29年2月1日～平成29年10月31日)における我が国経済は、米国における政策変化を始めとして、北朝鮮の核・ミサイル問題やEU離脱問題等、海外の政治情勢の不安定さに起因する為替変動や、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化など、外部環境の不透明さから、依然として先行きの見通しが非常に難しい状況が続いております。

国内の個人消費は、所得の伸び悩みによる生活防衛意識の高まりから引き続き選別消費が続いているなか、ファッションEC市場におきましては、小売店やブランド等の事業者側によるオムニチャネル化やファッション系スマートフォンアプリの増加等を背景に、堅調に拡大を続けております。

このような環境のなか、当社グループは、引き続きWEBマーケティングを中心とした「BUYMA」における「会員獲得施策」、「アクティブ率向上施策」および「ARPU維持施策」等を推進するとともに、SNSの活用等によるアプリ訴求施策及び、新規決済サービスの導入を始めとする各種周辺サービス・機能等の運用強化を加速し、一層手軽にBUYMAでショッピングをお楽しみいただけるよう積極的にサービスの拡充を進めてきております。

一方で、ロケットベンチャー社が運営するメディア事業につきましては、当第3四半期は、当第1四半期における広告出稿数の減少の影響により当第3四半期累計期間における売上及び利益が前年同累計期間を下回る水準で推移していることから、当第3四半期末時点では84,370千円の営業損失となりました。なお、当第3四半期において同社ののれんを減損処理したことで、426,875千円の減損損失を計上いたしました。

また、エニグモ코리아社はサービスをBUYMA.USに集約し、同社を解散することとし、当第3四半期末時点では49,001千円の営業損失となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,062,551千円(前年同四半期比6.1%増)と拡大した一方で、営業利益は997,776千円(前年同四半期比17.8%減)、経常利益は981,961千円(前年同四半期比18.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益221,004千円(前年同四半期比72.1%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ソーシャルコマース事業

ソーシャルコマース事業におきましては、個人がパーソナルショッパー(商品の売り手)となって世界中の話題のアイテムを紹介・出品、販売ができるソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA(バイマ)」を中心とした運営をおこなっております。当第3四半期累計期間におきましては、引き続き新規ユーザーおよび既存会員のアクティブ化およびコンバージョン向上のため、多数のセールへの取り組みに加え、オウンドメディアによる購買意欲の喚起、SNSを活用したアプリ訴求のほか、他社サービスとのID連携開始、各携帯キャリア決済及び翌月払い決済の導入を始めとした各サービス・機能の拡充を図る各種施策を展開しました。

また、セール連動TVCMの実施による新規会員獲得強化のほか、パーソナルショッパー(出品者)との密な連携による出品数の拡充、社内インフラの強化も引き続き進めてきております。

以上の結果、会員数は4,677,385人(前年同四半期比25.7%増)、商品総取扱高は24,933百万円(前年同四半期比11.0%増)、売上高は2,892,569千円(前年同四半期比9.1%増)と順調に拡大しました。

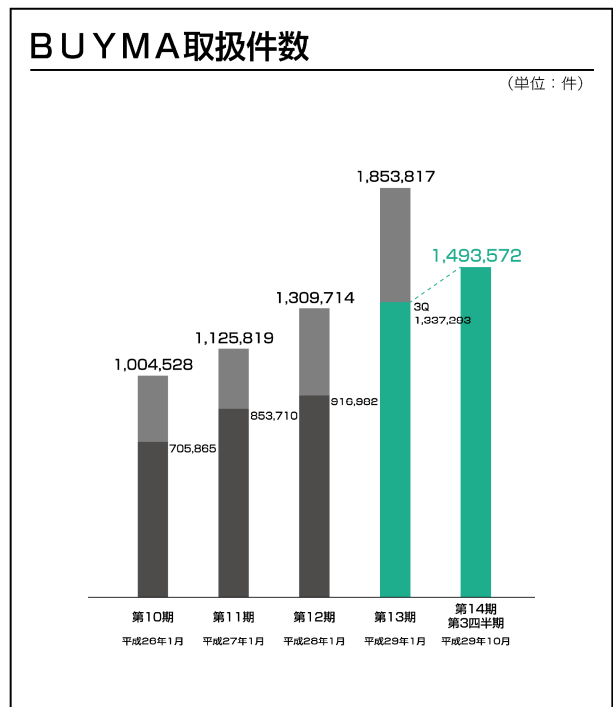
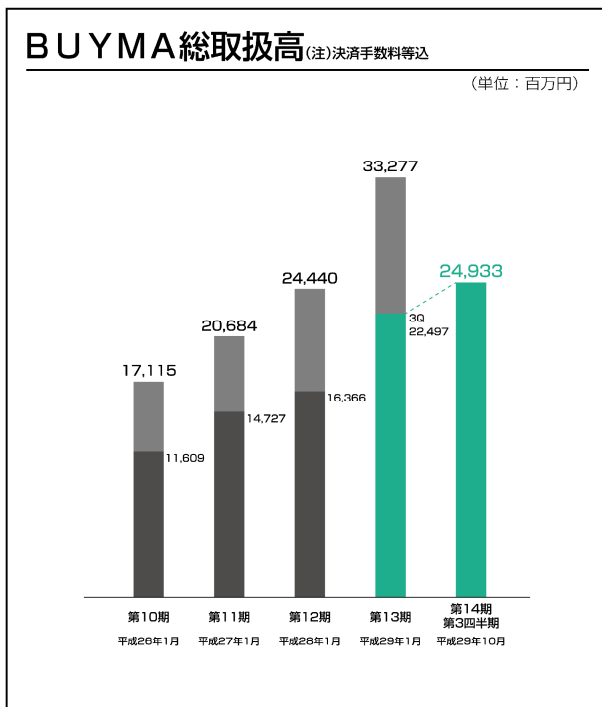
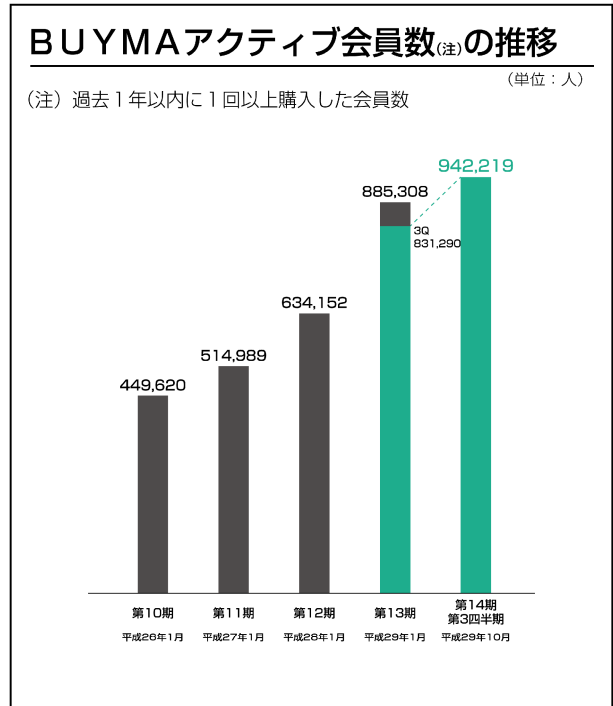
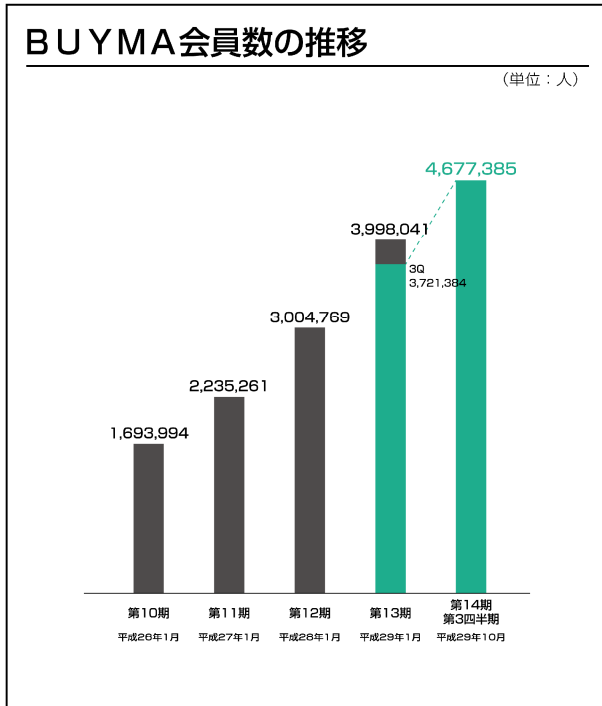
一方で、エンジニアを始めとする社内体制強化の為に人材獲得投資及び、組織拡大による本社移転による戦略投資を先行しておりますこと、また、エニグモ코리아社が運営する「BUYMA KOREA(バイマ코리아)」のサービスを「BUYMA.US」に集約し同社を解散する事とした為、当第3四半期末時点では49,001千円の営業損失となりました影響により、セグメント利益は1,081,697千円(前年同四半期比9.2%減)となりました。

② メディア事業

メディア事業におきましては、女子向けメディア「4MEEE」および主婦・ママ向けメディア「4yuuu!」において、当第1四半期からの広告出稿数の減少の影響で、広告収入は前年同累計期間を下回って推移しました。

以上の結果、売上高は169,982千円(前年同四半期比27.6%減)、セグメント損失は84,370千円(前年同四半期は21,854千円の利益)となりました。

【主要な経営指標の推移】



(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度より885,736千円減少し、4,194,623千円となりました。主な内訳は、現金及び預金3,147,973千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度より1,094,456千円減少し、790,982千円となりました。主な内訳は、預り金527,653千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度より208,720千円増加し、3,403,641千円となりました。主な内訳は、資本金381,903千円、資本剰余金391,473千円、利益剰余金3,051,242千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年9月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,823,547	3,147,973
売掛金	154,089	195,755
前渡金	350,375	562,193
繰延税金資産	55,861	31,458
その他	66,299	58,942
貸倒引当金	△756	△1,512
流動資産合計	4,449,417	3,994,811
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,065	57,532
工具、器具及び備品(純額)	17,249	22,418
有形固定資産合計	25,314	79,950
無形固定資産		
のれん	452,487	-
その他	27,671	22,378
無形固定資産合計	480,159	22,378
投資その他の資産		
関係会社株式	17,820	17,327
繰延税金資産	13,934	9,531
その他	93,713	70,623
投資その他の資産合計	125,468	97,483
固定資産合計	630,942	199,812
資産合計	5,080,360	4,194,623
負債の部		
流動負債		
未払金	145,975	120,776
未払法人税等	622,632	29,863
未払消費税等	121,015	18,515
預り金	940,135	527,653
ポイント引当金	36,025	43,223
その他	19,654	35,568
流動負債合計	1,885,439	775,599
固定負債		
資産除去債務	-	15,382
固定負債合計	-	15,382
負債合計	1,885,439	790,982

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,903	381,903
資本剰余金	391,474	391,473
利益剰余金	2,830,286	3,051,242
自己株式	△415,380	△415,380
株主資本合計	3,188,283	3,409,239
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	5,356	△422
為替換算調整勘定	978	△5,477
その他の包括利益累計額合計	6,335	△5,899
新株予約権	301	301
純資産合計	3,194,920	3,403,641
負債純資産合計	5,080,360	4,194,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
売上高	2,885,493	3,062,551
売上原価	456,895	550,512
売上総利益	2,428,597	2,512,039
販売費及び一般管理費	1,215,212	1,514,262
営業利益	1,213,385	997,776
営業外収益		
受取利息	561	222
為替差益	—	4,741
還付加算金	3,151	—
その他	87	258
営業外収益合計	3,801	5,222
営業外費用		
為替差損	695	—
持分法による投資損失	6,218	20,955
雑損失	926	80
営業外費用合計	7,841	21,036
経常利益	1,209,344	981,961
特別利益		
新株予約権戻入益	8	—
持分変動利益	28,294	20,462
その他	—	13
特別利益合計	28,302	20,476
特別損失		
貸倒引当金繰入額	32,404	—
減損損失	—	426,987
本社移転費用	—	1,685
その他	—	13
特別損失合計	32,404	428,685
税金等調整前四半期純利益	1,205,242	573,752
法人税、住民税及び事業税	393,350	321,167
法人税等調整額	19,145	31,580
法人税等合計	412,495	352,748
四半期純利益	792,747	221,004
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	792,747	221,004

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年2月1日 至 平成28年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年2月1日 至 平成29年10月31日)
四半期純利益	792,747	221,004
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△27,313	△5,778
為替換算調整勘定	△3,426	△6,455
その他の包括利益合計	△30,739	△12,234
四半期包括利益	762,008	208,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	762,008	208,769
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年2月1日至平成28年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソーシャル コマース事業	メディア事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,650,561	234,931	2,885,493	—	2,885,493
セグメント間の内部売上高 又は振替高	883	—	883	△883	—
計	2,651,445	234,931	2,886,377	△883	2,885,493
セグメント利益	1,191,080	21,854	1,212,935	450	1,213,385

(注) 1. セグメント利益の調整額450千円は、セグメント間取引消去450千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソーシャル コマース事業	メディア事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,892,569	169,982	3,062,551	—	3,062,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	0	0
計	2,892,569	169,982	3,062,552	0	3,062,551
セグメント利益又は損失(△)	1,081,697	△84,370	997,326	450	997,776

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額450千円は、セグメント間取引消去450千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

メディア事業セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において426,875千円でありませぬ。